

敗血症新GL「推奨なし」もある理由

手順と透明性にこだわり、意見募集第一弾は13日まで

m3.com編集部 2016年9月1日 (木)配信

一般内科疾患

一般外科疾患

救急

ディスカッション

日本救急医学会と日本集中治療医学会による『敗血症診療ガイドライン2016』が草案公開の段階に入っている。目玉は、欧米で先に公開されたSepsis-3を盛り込んだ新定義と診断基準の解説、そして新設した小児、集中治療後症候群（PICS）、ICU関連筋力低下（ICU-AW）などの項目だ。ガイドライン（GL）でありながら、「推奨なし」と結論したクリニカルクエスチョン（CQ）もある。GL作成特別委員会委員長の西田修氏（藤田保健衛生大学麻酔・侵襲制御医学講座主任教授）は「ぜひ多くの人に草案を読んでもらい、パブリックコメントを寄せてほしい」と期待を込める。

（『敗血症新定義、医師の大半が誤解』参照、m3.com編集部・軸丸靖子）

